

# 不要の携帯・スマホから2020年・東京オリンピックのメダルを再生するプロジェクトに参加しよう！



不要携帯・スマホ



再生地金



メダル(1964年の東京五輪のデザイン)

あなたの使用済み携帯電話・スマホには1台あたり7mgの金、11mgの銀、12gの銅のほか、貴金属が含まれています。こうした有価金属は都市に眠る資源として「都市鉱山」と言われ、その量は、**日本には世界全体の埋蔵量の16%の金と22%の銀**があると推測されます。

都市鉱山から貴金属を取り出し、メダルに再生する動きが始まっています。携帯・スマホ再生の最大の課題は、中に含まれる個人情報ですが、開発した破砕機で目の前で10mm以下に粉砕しますので、安心です。

11月12,13日(土、日)10:00-17:00

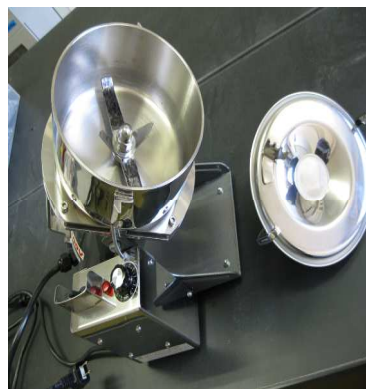
産業技術短期大学の飛翔祭・特設コーナー

で破砕しますので不要になった携帯・スマホをご持参ください。目の前で破砕します。なお、**白塔会総会参加者のご協力もお願いいたします**。1台毎に景品を差し上げます。

- ・都市鉱山から金メダルを再生する運動は全国でも始まっています。
- ・市制施行100周年の環境宣言都市「尼崎」からもこの動きを発信していこう。
- ・産業技術短期大学では、全国の動きと連携、大阪大学とも協力し、教職員、学生が一丸となってこの運動を推進します。

回収の目標:2012年のロンドン・オリンピック+パラリンピックのメダルに使った金9.6kg！

一次破碎機      破碎の流れ      二次破碎機



個人情報流出なし！その場で、10mm以下に粉碎！その後**金・銀**を抽出！

新聞報道の例



主催:産業技術短期大学(実行委員長 姉崎正治 特任教授)  
 協賛:大阪大学 人間科学研究科環境行動学(三好恵真子教授)